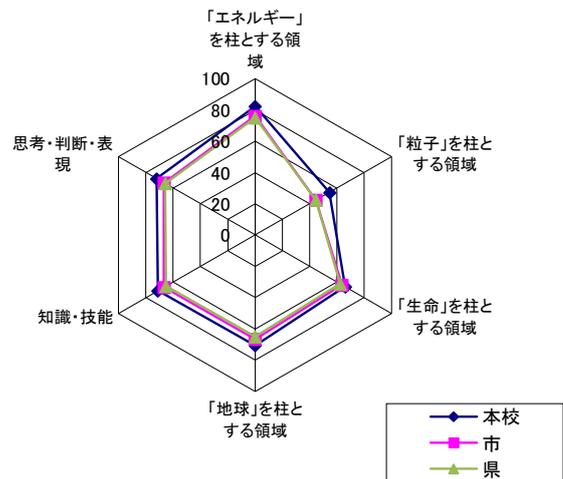


宇都宮市立横川中央小学校 第4学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

問題に 関する 領域等	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	82.4	76.2	75.1
	「粒子」を柱とする領域	54.6	44.5	44.5
	「生命」を柱とする領域	65.9	63.6	62.3
	「地球」を柱とする領域	70.6	66.6	64.9
観点	知識・技能	71.2	66.8	65.4
	思考・判断・表現	72.1	66.8	65.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
「エネルギー」を柱とする領域	<p>○平均正答率は82.4%で、県より7.3ポイント上回っている。</p> <p>○「電気が流れるつなぎ方を推測できるかどうか」問題の正答率は94%で、県より6ポイント上回っている。</p> <p>○「大きい音は、ふるえ方が大きいことを理解しているかどうかを見る」問題の正答率は97.6%で、県よりも11ポイント上回っている。</p> <p>●「鏡で反射した光の進み方を理解しているかどうかをみる」問題の正答率は88%で、県より3ポイント下回っている。</p>	<p>・「光の性質」について復習し、更なる知識・理解の定着を図るとともに、理科研究などに結び付いた内容を提示して応用力を身につけさせていく。科学的な見方・考え方を働かせられるよう日頃から科学的事象に目を向けるよう指導する。</p> <p>・今後も学習したことを日常生活と結び付けながら考えられるよう、授業の中でも意識していきたい。</p>
「粒子」を柱とする領域	<p>○平均正答率は54.6%で、県より10.1ポイント上回っている。</p> <p>○「ものの重さから、同じ種類の木でできている積み木を推測できるかどうかをみる」問題の正答率は90.4%で、県より12.6ポイント上回っている。</p> <p>●「姿勢を変えて測った体重が変化するかを実験の結果をもとに記述できるかどうかをみる」問題では、県より8.2ポイント上回っているものの、本校の正答率は18.1%と低かった。</p>	<p>・全体的に、基礎的な知識や技能は定着している。一方で、それらを活用して考えることに課題がある。問題の解き直しをするとともに、各自でいろいろな姿勢で体重を測らせるなど、問題場面に合った実験に取り組み、実感を伴った理解を図るようにする。</p> <p>・実験をするときに、その目的や手順、結果をしっかりと押さえた考察ができるように今後も支援する。</p>
「生命」を柱とする領域	<p>○平均正答率は65.9%で、県より3.6ポイント上回っている。</p> <p>○「観察記録として必要な項目を理解しているかどうかをみる」問題の正答率は94%で、県より6.2ポイント上回っている。</p> <p>○「植物の体のつくりの共通点を指摘できるかどうか」問題の正答率は91.6%で、県より8.8ポイント上回っている。</p> <p>●「虫眼鏡の使い方を身につけているかどうかをみる」問題の正答率は14.5%で、県より8.1ポイント下回っている。</p>	<p>・観察や実験の結果を正確に得るために、器具の正しい使い方の指導を徹底する。特に虫眼鏡の正しい使い方に関しては、観察する前に使い方を必ず確認させるようにする。</p> <p>・実験・観察の際には、必ず予想やその理由などの自分の考えを記述させる授業展開やノートの取り方の指導をしていく。</p> <p>・友達と説明し合う機会を多く持ったり言語活動を充実させたりしていくようにする。</p> <p>・自然観察をする際は、今後もめあてや観察のポイントを事前に提示し、自然現象について興味・関心を高めてから、活動に取り組めるようにする。また、ICTを取り入れ、学習内容の向上や、意欲の高揚に活用する。</p>
「地球」を柱とする領域	<p>○平均正答率は70.6%で、県より5.7ポイント上回っている。</p> <p>○「観察の記録から、かげと太陽の位置の関係を読み取ることができるかどうかをみる。」問題の正答率は97.6%で、県よりも7.3ポイント上回っている。</p> <p>○「温度計の使い方を身につけているかどうかをみる」問題の正答率は94%で、県より22ポイント上回っている。</p> <p>●「日なたと日かげの地面の温度の変化を理解しているかどうかをみる」問題の正答率は60.2%で、県より5.3ポイント下回っている。</p>	<p>・「太陽と地面のようす」の内容について、日常生活と関連付けて、日かげのほうが温度が上がりにくいので、涼しく感じられることを考えられるように指導する。</p> <p>・各単元を通して、学習内容を日常生活に結び付けながら学習を進め、自然の現象について正しく理解できるようにする。</p>